

＝ 第79回 ＝  
特別展示会

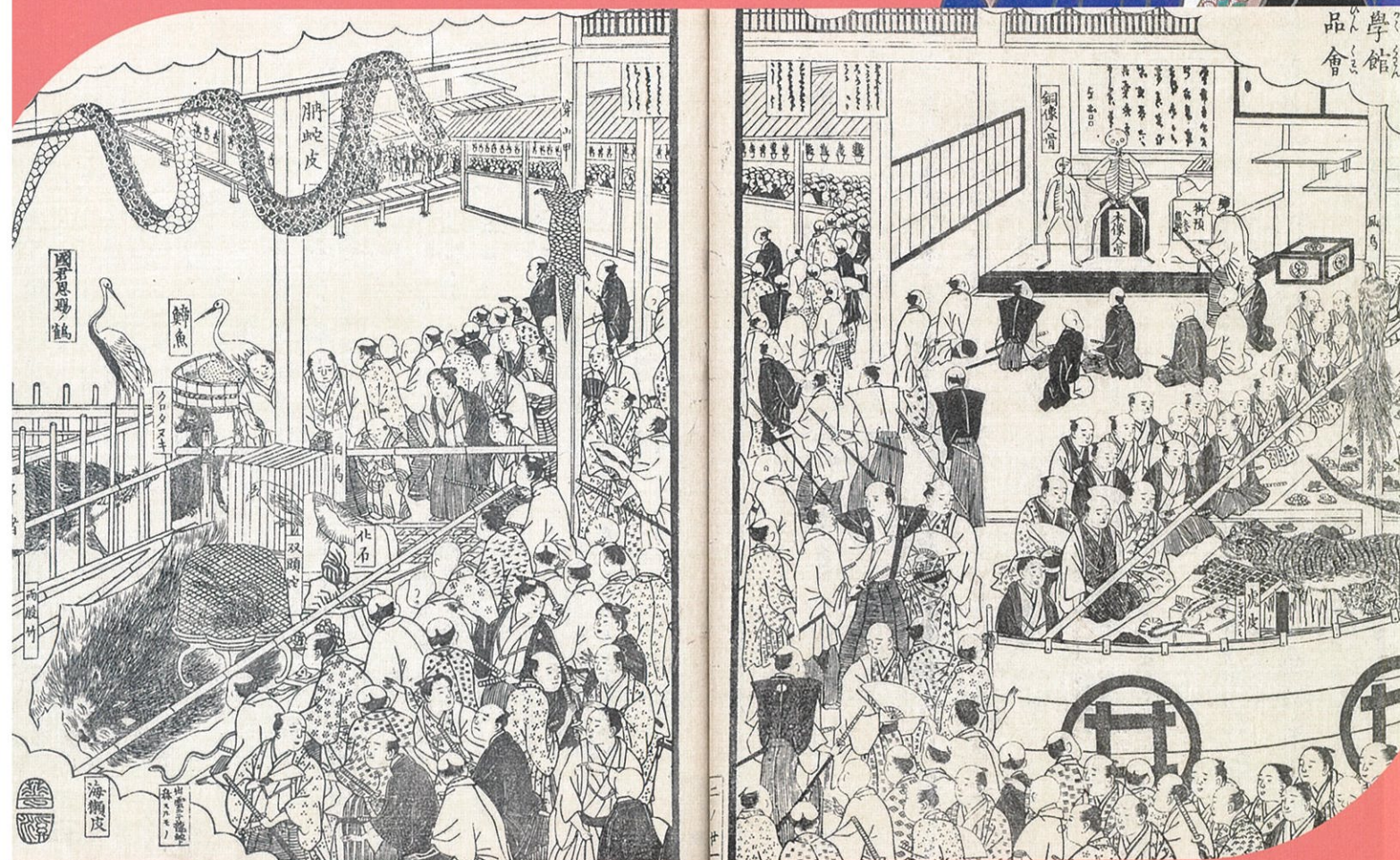
2024  
10  
15火  
12  
27金

# 薬品会 物産会

## 近世の



【開館時間】  
平日10時～16時  
【休館日】  
土日祝日、その他当館の  
行事等に伴う臨時休館日



江戸時代、平賀源内が主唱した薬品会では、  
動植物や鉱物を集め、医薬の進歩を目指した  
知の交流が行われました。

本展示会では、その歴史を伝える貴重な資料が展示され、  
当時の薬品研究の様子を学ぶことができます。

江戸の知恵と医薬の発展に触れてみませんか？

入館料  
無料

公益財団法人 武田科学振興財団

杏雨書屋



# 物産会・薬品会

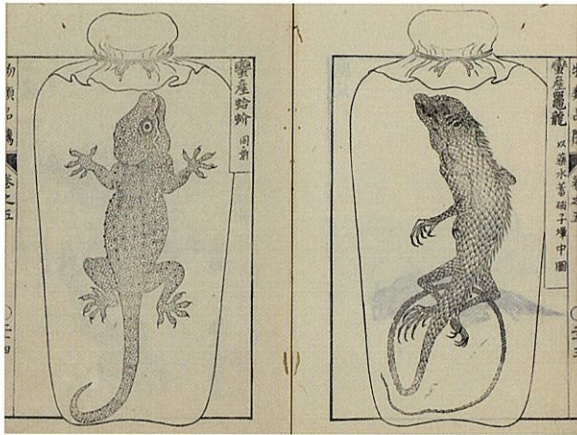
## 開催にあたり

「薬品会」また「物産会」は、近世中期から幕末・明治前期まで行われた、自然界にある動・植・鉱物を対象に、**新奇の薬品を持ち寄って互いに知識を高めようとする展示会**です。「本草会」「薬草会」との名称もあります。幕府や藩の医学館が定期的に開催する会、あるいは本草家の同門門人によるもの、さらには個人が料亭で開催するものなど、その形式・規模はさまざまです。

宝暦7(1757)年7月、医家・本草学者 田村藍水が江戸湯島に開いた薬品会は、前年入門の門人 **平賀源内** の主唱によります。その規模や内容は、「東都薬品会広告」や宝暦13年刊『**物類品騰**』などにより明らかになります。杏雨書屋には、源内の主催による薬品会の目録『**鳩溪薬品会目録**』など、**貴重な資料**が所蔵されています。



『文政庚辰五月十九日薬品会前所写』  
文政3(1820)年



平賀源内著  
『物類品騰』巻之五  
宝暦13(1763)年



『文政元年六月医学館博物館会手控』  
文政元(1818)年



本特別展示会では、このような **発明家・戯作者として著名** な平賀源内の主唱した薬品会はもとより、狂歌師 大田南畝の息子が詳細なスケッチをのこした幕府医学館における薬品会、和歌山や尾張など本草学が盛んな藩士たちが集う薬品会、京の山本読書室の物産会、近江の木内石亭の「奇石会」など、日常的に薬品会を開催した人物・団体にも焦点を当てています。また本草学の進歩とともに、物産会開催などにおける流通の過程でひろがった **変化朝顔** にも触れていきます。

## 第50回 研究講演会

開催日時  
2024年**10月19日**(土)  
13時~15時30分  
会場  
武田道修町ビル5Fホール

演題1 **「浪華の薬品会と江戸の物産会」**  
—平賀源内と大坂—  
日本女子大学文学部 教授 福田 安典 先生

演題2 **「ゲノムから読み解くアサガオの歴史」**  
九州大学理学研究院 准教授 仁田坂 英二 先生

展示案内 **「特別展示会の見どころ」**  
台東区立中央図書館 郷土・資料調査室専門員 平野 恵 先生

### 《研究講演会の申込み方法》

**9月24日(火)より申込み受付開始**  
申込み受付期間/9月24日(火)~10月17日(木)

下記の電話番号またはe-mailで受け付けます。

TEL **06-6233-6108**

[e-mail] **kyou@takeda-sci.or.jp**

申込み順に、本会場(約100席)、サテライト会場(映写、約20席)のご案内となり、満席になり次第受付を終了します。

公益財団法人  
武田科学振興財団

## 杏雨書屋

《きょううしょおく》



武田薬品工業株式会社創業家の当主、五代武田長兵衛(和敬翁)は関東大震災(1923年)により貴重な典籍類が灰燼に帰したことを痛嘆し、日本・中国の本草書などの散逸を防ぐことが社会のために有意義であるとの思慮から、私財をもって購入を始め、後に「杏雨書屋」と呼ばれる文庫を形成しました。杏雨とは杏林(良医・名医)、広くは医学界を潤す雨の意です。この事業は六代武田長兵衛にも引き継がれ、歳月と共にその内容はさらに充実したものとなりました。その後、これらの資料を広く公開し学術研究の利用に供することが学術振興に寄与するとの考えのもとに武田科学振興財団に寄贈され、1978年に図書資料館として開館しました。本草書や東洋医学書を中心に博物書、西洋医学書、漢籍、仏典、敦煌文献など、国宝3点・重要文化財14点を含む約4万点(15万冊)を所蔵します。

杏雨書屋  
の事業

| 閲覧・複写(研究者対象、要予約)、掲載申請対応。  
| 常設展示(随時入替)、  
| 特別展示会及び研究講演会の開催(年2回)。  
| 蔵書の復刻版や学術書、機関誌『杏雨』等の出版。



大阪市中央区道修町二丁目3-6 武田道修町ビル  
[開館時間] 平日10時~16時  
[休館日] 土日祝日、その他当館の行事等に  
伴う臨時休館日

ホームページはこちら  
<https://www.takeda-sci.or.jp/business/kyou.html>

